

表 - 4 本県におけるクマタカの現状と問題点および保護対策の基本方向

課題項目	現状と問題点	保護対策の基本方向
調査研究	生息実態把握の遅れ	基礎的・応用的研究の充実
	繁殖失敗原因の究明	繁殖のモニタリングによる影響要因の把握
個体レベルの保護	密猟および繁殖妨害	密猟対策の強化と県民の意識啓発
	傷病鳥および落鳥の収容・治療体制の未整備	治療・リハビリ等の推進体制の整備
	人工繁殖技術の遅れ	人工増殖技術の確立に向けた研究の取り組み
	環境汚染による有害化学物質の生物濃縮	有害化学物質等の影響把握に基づく規制措置の検討
生息環境の保全	営巣地選択の限定性	保全重要エリアの把握に基づく保護区域の設定
	餌資源および採餌環境の減少	生息環境の改善・整備による生物多様性の保全
	保全関連制度との関連性希薄	鳥獣保護区等の指定と法制度の活用
	自然公園利用上の影響	指定地域の内容強化と公園利用者の意識啓発
	林業実施上の影響	森林空間の保全と利用に関する維持管理計画の策定
		土木工事(治山・林道等)実施上の保全
		天然林の維持と人工林の適正管理
	各種開発行為等の影響	開発を含む土地利用計画の方向づけと規制誘導方策の推進
		開発行為等に際しての保護方策の推進
生態学的補償制度(ミティゲーション)の導入		